



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

11月園だより

令和4年10月28日

October 28, 2022

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



祝 開園88周年

園長 河合 晴美

南山幼稚園は、10月22日に88回目となる開園記念日を迎えました。今年度は土曜日となるため、前日の21日に幼稚園挙げてのお祝いをいたしました。

本園は、昭和9(1934)年東京市南山幼稚園という名称で、東京都の中では33番目、港区立幼稚園の中では2番目に開園した歴史ある幼稚園となっています。園舎は、今の体育館横、小学校の職員室の並びにありましたが、校舎の改築を機に現在の園舎の位置となりました。日の当たる側に独立園舎として建築して下さったことに、幼児への配慮を感じることができます。地域の中には、当時を知る方や幼稚園に通っていた修了児である方が多くいらっしゃいます。そのため、幼稚園は、今も昔も温かく見守られ支えられています。そして、当時から丘の上のこの場所で、幼児が伸び伸びと生活し、笑顔いっぱい遊んでいる姿となっています。これからも幼児の生活を大切にするとともに、確実に90年、100年へと歴史が刻まれることを願っています。

今年度の開園記念日は、5歳児さくら組から4歳児ばら組へ、そして3歳児りんご組へとバトンを渡すように関わっていきました。5歳児さくら組は、4歳児と折り返しリレーを楽しむ中で、自分たちなりにアドバイスをしたり、走っている姿を応援したりする姿が見られました。その声を聞き、力を出して走る4歳児の姿がありました。また、ここ数年恒例となっている「周年の数だけ見つける園章探し」では、見つけるために注目するところや探す姿が学年ごとに異なる様子が見られます。力を合わせて相談する5歳児、見付けると大喜びの4歳児、なかなか見付けられない3歳児に寄り添う5歳児と、それぞれの姿が微笑ましいです。昼食時には、地域の方の御指導によるさくら組がつくった味噌汁(味噌汁)をいただき、南山幼稚園の子どもたちがみんなで楽しむ開園記念日の一日を共有しました。

その姿に、昔も今もアットホームで温かい雰囲気にも包まれている幼稚園を思います。宝と思えるようなその環境と子どもたちとの出会い、皆様の御支援に感謝しながら子どもたちの未来につながる教育活動のために、最善を尽くしていきたいと思えます。



<4歳児と5歳児のリレー>



<3歳児とともに園章を貼る5歳児>



<88周年の88の文字ができました>

